

〔女子準決勝〕

昭和学院中学校 (市川・浦安)	71	}	50	}	翔凜中学校 (君津)
			16-13 17-8		
			19-14 19-15		

【評】

シード校同士の準決勝。昭和学院はオールコートマンツーマン、翔凜はハーフコートマンツーマンでスタート。昭和学院は、④花島の鋭いドライブやポストプレイから得点を重ねる。対する翔凜は⑨菊池のドライブや⑩川井田のジャンプシュートで得点。

2Qに入ると、昭和学院中はディフェンスのプレッシャーを強め、速攻や高さを生かしたリバウンドからのシュートでリードを広げる。

後半に入っても昭和学院は④花島を中心としたオフェンスで突き放しにかかる。翔凜も⑦高木のドライブやジャンプシュート、⑨菊池のドライブで食い下がる。4Q、翔凜はディフェンスをオールコートに切り替え、逆転を狙う。しかし、昭和学院もゴール下を譲らず得点を重ね、試合終了。両チームとも、よく脚が動くディフェンスに迫力があり見ごたえのあるゲームであった。敗れはしたものの、最後まで果敢にチャレンジしていった翔凜の選手たちにも拍手を送りたい。

〔女子準決勝〕

市川市立 第三中学校 (市川・浦安)	64	}	47	}	市川市立 第七中学校 (市川・浦安)
			16-14 15-6		
			16-11 17-16		

【評】

市川浦安地区予選、そして、今年度総体の準決勝と同じカードとなった因縁の対決。両チームとも、よく声をだしてオールコートマンツーマンディフェンスでスタート。1Q、市川三中は、5人全員がうまく機能し、全員で得点を取りに行く。対する市川七中は④高柳の1 on 1を中心に得点を重ねる。2Qに入ると、市川三中の2対2のスクリーンプレイから⑥田丸の1 on 1で得点する。市川七中もそのプレイに対応し、スティールからの速攻で⑥石倉が得点する。

一進一退の攻防から、市川三中がややリードして入った後半、市川七中は速い展開のオフェンスで④高柳が得点していく。市川三中も④石橋のインサイドプレーでファウルを誘い、フリースローを確実に沈める。三中リードで迎えた4Q、市川七中は④高柳、⑥石倉、⑬畑中らの1 on 1で食い下がるも、その差が縮まらず試合終了。最後まで、よく脚を動かしてプレイした市川七中の健闘をたたえたい。

〔女子決勝〕

昭和学院中学校 (市川・浦安)	71	}	49	}	市川市立 第三中学校 (市川・浦安)
			13-12 21-8		
			16-15 21-14		

【評】

同支部同士、今期3大会連続で同じ対戦となった。両チームともにハーフコートマンツーマンでスタート。序盤、昭和学院は④花島、市川三は④石橋の両エースが1 on 1を果敢に仕掛けるも、両チームなかなか得点が伸びない。口火を切ったのは昭和学院。⑦エズコ、⑥小出のドライブから立て続けに得点。対する市川三は⑥田丸がスリーポイントやインサイドでの巧みな合わせで加点。一進一退の攻防が続く中、昭和学院⑤安海、⑩大城が得点を伸ばし、④花島も本領を發揮し始める。

昭和学院リードで迎えた後半、市川三は⑥田丸、④石橋の1 on 1から得点を重ねて食い下がる。対する昭和学院も⑦エズコ、⑩大城が速い攻めから巧みにシュートを沈め、追従を許さない。市川三は⑥田丸のドライブ、⑦熊谷のハイポストシュート、粘り強いディフェンスで追いつこうと粘るも、そのまま試合終了。昭和学院が千葉県での不敗記録をさらに伸ばした。敗れはしたものの、市川三の粘り強いディフェンスや、大きい選手に立ち向かう姿勢は、他の模範となった。

〔男子準決勝〕

成田市立	}	17-24	}	85	八千代松陰中学校
		12-23			
西中学校 (印旛)		10-20			
		24-18			

63

(八千代)

【評】

高い確率でシュートを沈めるシューターを擁する成田西と、今大会屈指の平均身長を誇る八千代松陰の戦い。両チームとも予測の鋭いマンツーマンディフェンスで得点を簡単に許さない。前半、成田西は④塚本の 1 on 1, ⑤河崎のスリーポイントで得点をかさねる。対する八千代松陰も、高い慎重を生かしインサイドを責め立てる。八千代松陰⑨大橋, ⑩新井, ⑬坂本らのインサイドでの 2 on 2 やセカンドチャンスからのシュートを確実に沈め、一進一退の攻防となる。

後半に入ると、成田西中のシュートがなかなか決まらず、リバウンドで粘る八千代松陰がじわじわとリードを広げる。成田西は⑥塚本が奮闘し、スリーポイントをはじめ、苦しいところで得点をつないでいく。しかし、八千代松陰の⑨大橋, ⑩新井のインサイドプレイや、ミドルシュートがよく決まり、その差を詰めさせない。成田西は 4 Q ④塚本, ⑥塚本のスリーポイントで最後の逆転のチャンスにかけるも試合終了。最後までゴールを狙い続けた成田西中に拍手を送りたい。

〔男子準決勝〕

船橋市立	}	22-23	}	84	松戸市立
		25-25			
葛飾中学校 (船橋)		11-25			
		21-11			

79

(松戸)

【評】

シードから勝ち上がった両者の対戦。葛飾はインサイドやドライブを中心に得点を重ねる。松戸一は、インサイド、アウトサイドともに定評のある⑦山崎が 1 Q で特にインサイドで粘りを見せ得点を重ねていく。2 Q, 葛飾中は⑤佐々木, ⑦齊藤らのドライブやポストプレイ, オフェンスリバウンドからのシュートなどペイントエリア内のシュートで得点。松戸一も⑦山崎のスリーポイントがあたりはじめる。

一進一退の攻防で迎えた後半、松戸一⑦山崎はスリーポイント、インサイドともに高い得点力を発揮し、その差が開き始める。対する葛飾も⑱石井が得意のスリーポイントとガッツあふれるデュフェンスで味方を勇気づける。4 Q, 葛飾は④神川, ⑥後藤, ⑦齊藤の 1 on 1 で食い下がる。葛飾のディフェンスが機能し始め、その差が縮まるも、松戸一は⑧渡邊のスリーポイントなどで逆転を許さず、試合は終了。敗れたものの、高い能力を発揮した葛飾中の選手たちのバスケットが会場を魅了していた。

〔男子決勝〕

八千代松陰中学校	}	24-11	}	72	松戸市立
		26-17			
(八千代)		16-25			
		18-19			

84

(松戸)

【評】

決勝戦は、ベスト4に名を連ねれば必ず優勝、という八千代松陰と、松戸地区、新人戦初優勝を狙う松戸一との闘い。序盤、八千代松陰は⑤石渡の速攻, ⑨大橋, ⑩新井のゴール下で順調に加点。対する松戸一も⑦山崎にボールを集め、ゴール下と、ストップジャンプシュートで対抗。2 Q, 八千代松陰⑥三上, ⑨大橋が得点を重ねリードを奪う。後半に入り、松戸一は粘り強いディフェンス, リバウンドからチャンスを作る。八千代松陰も④金田と⑬坂本の 2 on 2 を巧みに生かし得点を伸ばす。粘りを見せた松戸一は⑦のみならず、⑧渡邊のスリーポイント, ⑤兎澤と⑦山崎の 2 on 2 など粘り、差を詰めて最終Qへ。八千代松陰⑤石渡がけがの処置をしてコートに復帰、奮闘する。松戸一も、最後まで逆転を狙ってボールに食らいつくも、そこで試合終了。八千代松陰が3年ぶりの優勝を飾り、ジnkスの記録を更新した。敗れはしたものの、最後まであきらめずプレイした、松戸一の選手たちの健闘をたたえたい。